

15号 平成18(2006)年2月16日

JR 西日本の山崎新社長は、社長就任の日、社員に対し、「当社として当面、重点的に取り組むべきこと」として、「第1に遺族・負傷者への対応を誠心誠意おこなうこと、第2に安全を最優先する企業風土を構築すること、第3に自信と誇りを持って、持てる力を発揮し、仕事に当たること」と訓示したとのことです。また本田宗一郎氏の「進歩は反省の厳しさに正比例する」との言葉もあげておられます。

問題は、なにが誠心誠意なのか、なにが進歩であり反省なのかを、JR 西の一方的な判断で決めないことではないでしょうか。

## 成果はなかったけど気持ちはぶつけた

### JR 西主催地区別懇話会

1月下旬、5カ所で開催された地区別懇話会では、少人数のところもあり、多数の遺族・負傷者が、質問したり自分の気持ちを JR 西に伝えたりしました。各会場とも、想定された抽象的な答え、言い訳に終始し、参加してよかった、という声はあまり聞かれませんでした。

この懇話会の「議事概要」が、すでに届いていることと思います。ある会場では、「前回のよう、JR 西に都合のいいような、いい加減な議事録をつくるな」との意見もでしたが、今回の「議事概要」も、私たちの涙と怒りが伝わらない、単なる箇条書きでしかありません。世話人会では JR 西日本に対して、「議事概要」の書き直しを求めたいと思います。

## 賠償問題

### 交渉に合意した人がいてもいいと思うけど

地区別懇話会で、JR 西から「数名の遺族が補償に合意した」と発表があり、マスコミでも報じられました。4・25 ネットワークからは、賠償問題で終了した場合も、具体的な金額・人数・氏名など決して漏らさないでほしい旨、かねてから申入れています。「ほかの人が合意したのだから、私も急がなきゃ」などと心配されることはありません。このことに関しては、次頁以降に詳しく記します。

## 2月例会のご案内

2月19日(日) 午後1時開場

1時15分～2時20分 分科会

2時30分～4時 全体会

場所 「宝塚ソリオ2」4階

0797-86-4006 阪急宝塚駅すぐ

今回も分科会としては、心のケア以外は別に集まらず、全体会で討議することにします。心のケア分科会にはカウンセラーが、全体会には弁護士が講師として参加されます。

終了後に、弁護士・税理士・司法書士・カウンセラーに個々の相談もできます。

分科会だけ参加してみようかなと思う方、弁護士や税理士に相談したいだけという方も、どうぞおいでください。

毎月の例会は、当面、「宝塚ソリオ2」4階、男女共同参画センターを会場にします。お子さんたちのプレイルームもあり、ボランティアの方が例会中の保育を担当しています。

会をかさねるにつれ、子ども同士も仲良くなって、楽しげに遊ぶ姿も見られます。子どもさんをお連れの方は、なるべく事前にお子さんの年齢と人数をご連絡ください。

## 乗車位置問題の経緯と問題点について

「何もわからないままでは  
心のトビラが開かない」

遺族のなかには、未だに亡くなった家族が事故車両のどこに乗っていたかが分からない方が多くおられます。

新聞が警察からの情報として報道したところでは、亡くなられた方の乗車車両（何両目の車両か）がまったく分からない方は 17 名にのぼることです。

遺留品などから何両目に乗っていたかについてある程度の手がかりがある方でも、その車両のどの位置に乗っていたかの情報が提供された方はあまりいないというのが現状のようです。

亡くなった家族が、何両目のどこに乗っており、どのように事故にあい、どのように車両から救出されたのかを知ることは、みんなの願いです。

4・25 ネットワークは、亡くなられた多くの方の乗車車両や乗車位置が不明のままにされていることが明らかになるにつれ、少しずつですが取り組みを行ってきました。

### ねばり強く警察と交渉

#### マップの閲覧可能に

これまで兵庫県警の被害者対策室や尼崎市消防局を訪問し、警察・消防として乗車車両や乗車位置を調べてほしいということを要望しました。

その結果、警察からは乗車車両の手がかりがない方については、遺族から写真等の情報を提供していただき、事故車両に乗車していた皆さんに写真等の情報を見てもらって、手がかりとなる情報を集めてもらえることになりました。

また、これまで警察が作成してきた乗車位置のマップの閲覧が可能となりました。但し警察のマップには氏名が記載されておらず、死亡・負傷の別と男女の別だけが記されています。また1両目は空白の領域が多く残されています。

このマップの閲覧を希望される方は県警本部被害者対策室か所轄の警察署に連絡すれば対応してもらえます。

### 尼崎消防局で救助隊員の話を書きました

消防局では、当日救助にあたった隊長さんのお話を直接伺う機会を得るとともに、救助に従事した隊員さんに亡くなられた方の写真を見ていただきました。

以上の動きだけではまだまだ全員の乗車位置が明らかになるとは思えませんが、粘り強く取り組みを続けていきたいと思えます。

### 負傷者のマップ作成作業

また、川西市で行われている負傷者のつどいでは、乗車位置のマッピングの作業が始められていると報道されました。その作業を通じて一人でも多くの方の乗車位置が判明すればと思えます。

### 乗車位置や状況について

#### 追及していきましょう

4・25 ネットワークの次回の例会（2月19日）では、心のケアの分科会で乗車位置問題のことも取り上げますので、関心のある方はおいでください。ともに話し合しましょう。

### 「もう補償交渉が始まっているの？」

#### とご心配の方へ

賠償交渉を急ぐ必要はありません。悲嘆の時を過ごし、事実を知り、そして精神的に一段落がついてから、じっくりと交渉をすることができます。焦ったり、急いだりする必要はありません。

### 1. 補償交渉の報道と実態について

最近の新聞で、遺族の3分の2が補償交渉をスタートさせたかのような報道がなされましたが、この報道は、JR担当者が補償担当者を遺族宅に連れてきて顔合わせをしたにすぎない場合がほとんどで、具体的な交渉らしきものは一切なされていないのが実態でした。

このように到底「交渉開始」とは言えないものを、あたかも順調に賠償交渉が進んでいるかのように対外的に装うことがJR西日本の目的だと思われます。

ご遺族のほとんどの皆さんは、まだ事故原因の説明もないままで賠償交渉をするような

気持ちにはなれないと言っておられます。加害者であるJR西日本に追い立てられるようにして賠償交渉の席につく必要はありません。まだ事故の全体像が明らかになっていないにもかかわらず合意を急がされる理由はまったくないのです。

## 2. 補償交渉の時効について

賠償交渉は少なくとも事故から5年間（旅客運送契約にもとづく賠償責任）は時効になりませんのでご安心下さい。

## 3. 経済的に苦しくなられた方へ

一家の大黒柱を亡くされたご家庭など尼崎脱線転覆事故により経済的に苦しくなられた方には、JR西日本に賠償金を内払させることも可能です。

あわてて示談しなくても内払い請求ができますので、ご遠慮なく4・25支援弁護士グループにご相談下さい。

上記の文章にあるように、一家の大黒柱として経済的な支柱であった方を亡くして、生活費や学費等に困っている方がおられましたら、賠償交渉が終わらなくても、JR西に生活費や学費として賠償金の前払いを請求しましょう。

JR西が出し渋ったりした場合は、4・25ネットワークの事務局までご連絡ください。

また、弁護士やその他専門の人に相談したいという方も、ご遠慮なくお申し出ください。

## 事故から1年追悼行事の取り組み

こころのこもった追悼と

鉄道の安全をめざす場に

早いものでもうすぐ事故から1年。先月もお知

らせしましたように、JR西日本主催の追悼行事を、単なるセレモニーに終わらせず、遺族・負傷者の意見をいれて、心から犠牲者を追悼し、安全を願う集まりにしたいものです。

支援弁護士グループを中心に、犠牲者の友達や負傷者たちが集まり、「思いをつなぐ連絡会 4月25日から1年」実行委員会が結成されました。

実行委員会では4月25日に「追悼慰霊祭」などの行事を検討されています。「参加してよかった」といわれるような行事が実現できたらと努力されています。

たとえば、1月17日の神戸での取り組みのように、朝から晩まで一日中、どこかで、誰かが、なにかをしているというような4月25日にしたい、会場まで出かけられない人も、折鶴を折ったりすることで参加できたらいい、などの意見もあります。福知山線沿線の各駅で、リボンを配って事故の犠牲者を偲んでもらったり、音楽を演奏したりする案も出ています。

今後、みなさんのお声を集めて充実した内容の追悼行事にしていきたいと思います。

## あしなが育英会より

### 遺児たちをスキーにご招待

遺児たちの学業を支援している「あしなが育英会」では、3月下旬にスキーの行事を企画しています。JR福知山線事故の遺児たち（小学生以上）も招待して下さるとのことです。

詳しい日時や場所が決まり次第、お知らせします。

子どもだけでなく、お世話して下さる方、ボランティアでお手伝い下さるかたも参加してください。

## 今後の予定

3月例会は3月19日、4月例会は4月16日、場所は当分、宝塚ソリオ2です。ホームページにもお知らせ欄に掲載しています。